

令和5年度 第2回中区協議会

# 会議資料

## 【協議事項】

ア 令和4年度中区地域力向上事業（助成事業）の事後評価について

令和5年5月24日開催

中区協議会

## 第9号様式

## 区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項
件 名	令和4年度中区地域力向上事業（助成事業）の事後評価について
事業の概要 （背景、経緯、 現状、課題等）	—
対象の区協議会	中区協議会
内 容	令和4年度に実施した中区地域力向上事業の事後評価（案）について、協議会のご意見を伺うもの。 ・助成事業                      2事業  詳細は別紙のとおり。
備 考 （答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など）	
担当課	中区区振興課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

令和4年度 中区地域力向上事業 事後評価

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 中区らしさ…事業の実施にあたり、各区固有の人材、資源などを活かしたか。より発展、強化させることに繋がったか。
- 2) 事業目的の達成度…提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 3) 財政支援の必要性…市が補助金を支出して行う必要性。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 4) 費用対効果…事業実施により得られた効果と、かかる費用のバランスは適切か。

■助成事業

事業名 実施者	目的	事業内容	総事業費 [補助額] (円)	実施 回数	中区 らしさ A(高い) B(普通) C(低い)	事業目的 の達成度 A(高い) B(普通) C(低い)	財政支援 の必要性 A(高い) B(普通) C(低い)	費用対 効果 A(高い) B(普通) C(低い)	評価・意見等
1 「浜松ブルースフェスティバル2022」 浜松ブルース振興会	・ブルース音楽のイベント活動を通して、中区の活性化と賑わいづくりに寄与する。 ・多くの区民が自由に参加するブルースフェスティバルをソラモで開催することにより、音楽の振興と街中が融合するクリエイティブ・シティとしての浜松市の魅力を世界に発信する。	【期間】 令和4年9月18日（日） 【場所】 浜松ギャラリーモール ソラモ 【内容】 ・プロゲスト、アマチュア6組による演奏会。アマチュアは中区のバンド中心。 ・「音楽：ブルース」「バザー：ショップ」「子供：スポーツ、カヤック」を統合するイベントを開催。 ・Youtubeライブ配信によるハイブリット開催。ブログ、SNS、全国音楽誌などにより国内外に情報発信。 ・団体スタッフ20名、参加者50名、来場者1,000名（事業提案時目標：来場者1,000名）	1,850,159 [837,000]	1回 (R3中止)	A	B	B	A	令和3年度に採択されたが、コロナにより事業を中止。  ■中区らしさ ・コロナ禍のため、会場による生演奏はおよそ3年ぶりとなったが、中心市街地を盛り上げ、音楽の街・浜松をPRする場として多くの方が来場した。 ・新たな試みとしてバザーショップやスポーツイベントを実施し、音楽ファンだけでなく広く中区民を巻き込むイベントを展開した。 ■事業目的の達成度 ・事業提案時に掲げた来場者目標1,000名を達成し、中区の活性化及び賑わい創出に寄与した。 ■財政支援の必要性 ・市が目指す“音楽の都”として音楽文化の振興に繋がる活動を担っており、対象者を限定せずに区民を広く巻き込む点からも公益性が高い。 ■費用対効果 ・今回は初めての助成となったが、事業を振り返り自主運営による事業継続ができるような見通しを立て、今後も多くの方に音楽を楽しめる機会をもたらし、中心市街地の活性化に繋がる事業として期待できる内容となった。 ■その他 ・今後も同様のイベントを開催する場合は、バザー等物販ブースと音楽イベントとの融合案を検討し、音楽を楽しみながら会場を回遊できるような仕組みづくりの創出に期待したい。
2 「2022浜松クロスオーバー音楽祭」 はままつミュージックバンク運営協議会	・音楽の街らしい新趣向の音楽祭を開催することで、区民が多ジャンルの音楽に触れ、楽しみ、音楽の街・浜松の一員であることを実感できる機会を創出する。 ・イベントの様子を記録し、全国へ配信することで、音楽の街・浜松のPRに貢献し、中区への来客の誘発、にぎわい創出に寄与する。	【期間】 令和4年11月6日（日） 【場所】 浜松ギャラリーモール ソラモ 【内容】 ・多ジャンルに亘る演奏披露 ・来場者参加型音楽イベントの実施 ・多分野の市民団体との連携企画の実施 ・Youtubeによる動画配信 ・団体スタッフ28名、全参加者数約2,400名（事業提案時目標：参加者1,500名）	2,291,333 [963,000]	1回 (R2、R3中止)	A	A	B	A	令和2年度及び3年度に採択されたが、コロナにより2年間事業を中止。  ■中区らしさ ・イベント参加者と観客双方が楽しめるような多ジャンルのプログラムにより、中心市街地を盛り上げた。 ・クラシック陣によるフラッシュモブ（突発的な演出）を実現し、音楽の街・浜松の全国PRに大きく貢献した。 ■事業目的の達成度 ・全参加者数約2,400名と事業提案時に掲げた参加者目標1,500名を大きく上回り、中区に賑わいをもたらした。 ■財政支援の必要性 ・市が目指す“音楽の都”として音楽文化の振興に繋がる活動を担っており、対象者を限定せずに区民を広く巻き込む点からも公益性が高い。 ■費用対効果 ・イベント当日及びイベント後にYoutubeによる動画配信を行った。フラッシュモブの様子は、令和5年5月現在で4,000回以上の再生回数を達成している。 ・今回の実施を踏まえ、今後も多くの方が気軽に音楽に接することができ、中心市街地の活性化に繋がる事業の継続が期待できる内容となった。 ■その他 ・今後も同様のイベントを開催する場合は、バザー等物販ブースと音楽イベントとの融合案を検討し、音楽を楽しみながら会場を回遊できるような仕組みづくりの創出に期待したい。